

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	水戸市立緑岡中学校 全校生徒500名 教職員35名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（学級活動） ② 行事名（オリパラ事業講演会） ③ その他（ ） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（水戸黄門漫遊マラソン、水戸梅まつり） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・ オリンピック・パラリンピック開催の機運を生かし、生徒のオリンピック精神やおもてなし精神の醸成を図ることで、他者を思いやる心を育てる。
5 取組内容	<p>(1) 講演会の実施 10月5日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 筑波大学客員教授 江上いずみ先生を講師としてお迎えし「グローバルマナーとおもてなしの心」の演題で全校生徒を対象に講演会を実施した。 ② 事後指導として、学級活動において講演会後の振り返りを行った。 <p>(2) 水戸黄門漫遊マラソンボランティア 10月29日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① エイドステーションの運営 ② ランナーへの声援 ③ コースの清掃 <p>(3) 水戸観梅まつり2月25日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 偕楽園でのお出迎え ② チラシ配布 ③ 記念写真補助
6 主な成果	<p>(1) 講演会後の生徒のボランティアに対する意識の変容が大きく、相手を思いやる気持ちが普段の行動においても前面に出るようになった。</p> <p>(2) 相手を気遣う心遣いが、所作にも表れるようになり、分離礼などを意識するようになった。</p>



	<p>(3) マラソンボランティアは、あいにくの土砂降りの中であったが、最後までさわやかな笑顔を絶やすことなく献身的に取り組んでいた。</p> <p>(4) 単に給水を行うだけでなく、声をからしランナーを声援し続けるなど、心から相手を思う行動が、参加した全生徒にみることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講演会前に江上先生の著書を用意し事前指導を行い、また、事後においても、振り返りや話し合いを行うことで、単に講演会を聞くだけでなく、考えたり振り返ったりする場面を増やし、生徒の心を揺さぶるようにした。
<p>8主な課題等</p>	<p>(1) ボランティアの精神や相手を思いやる気持ちは、育ってきているが、オリパラに対して今後どう関わっていくことができるのか、具体的に見えてこない。</p> <p>(2) オリパラ事業の啓発パンフレットや資料などが身近にあると、継続的に意識付けが図れるのではないかな。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>(1) 江上いずみ先生の著書「グローバルマナーとおもてなしの心」を活用した道徳及び学級活動</p> <p>(2) 水戸黄門漫遊マラソンでの給水支援</p> <p>(3) 水戸観梅でのボランティア活動</p> <p>(4) 茨城国体でのおもてなし</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>